

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第9号（令和6年5月8日）

みんなで楽しみました…春の遠足②

☆クラス遊び

昼ご飯を食べて、元気回復。それぞれクラス遊びをしました。



☆解散式



えんそく
楽しかった！

前日までの雨で、「できるかなあ」と心配していましたが、みなさんの願いが通じて、春の遠足を無事に行うことができました。

【いっぱい遊んだ】【いっぱい食べた】【いっぱいともだちと仲良くした】…そんな遠足だったと思います。

私自身、みなさんの姿を見て【うれしさ】と【感動】をおぼえました。ありがとう。（理由は裏面に書きました）

保護者の皆様へ

春の遠足について、準備や送り出し・お迎えなど、ありがとうございます。おかげさまで子ども達の楽しそうな笑顔を多く見ることができました。

今後とも本校の教育活動にご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

1年生を迎える会・春の遠足を通して…児童朝会より



5月7日（火）の児童朝会でみなさんに【3つの幸せ】のお話をしました。今回の1年生を迎える会や春の遠足でのみなさんの行いを見ていて【3つの幸せ】というお話を思い出したからです。カー用品店イエローハット創業者の鍵山秀三郎さんのお言葉を参考にしました。

人生をよくする【3つの幸せ】

【してもらう幸せ】

【3つの幸せ】の中で、最初はしてもらう幸せです。

赤ちゃんは全てこの【してもらう幸せ】です。

「おなかがへった」「おしめがぬれた」「だっこしてほしい」などの時に、大声で泣くとうちのひとがお乳をくれたり、おしめを取り替えてくれたり、だっこしたりします。そうすると赤ちゃんは泣き止み、安心したりうれしかったりします。

みなさんは赤ちゃんではないですが、おうちの人に「ごはんを作ってもらった」「どこかに連れて行ってもらった」、ともだちから「やさしいことばを言ってもらった」などのけいけんがありますね。これが1つ目の幸せ【してもらう幸せ】です。

【できる幸せ】

赤ちゃんからもう少し大きくなると、いろいろなことを自分でやりたくなってきます。その結果、「ご飯を一人で食べられるようになった」「一人でトイレに行けるようになった」…もっと大きくなると「字が書けるようになった」「自転車に乗れるようになった」「九九が言えるようになった」「国語の問題が解けるようになった」などできることが増えてきます。今までできなかったことができるようになると、「やったー！」とうれしくてとても幸せな気持ちになりますね。これが2番目の【できる幸せ】です。

【してあげる幸せ】＝【だれかのためにする幸せ】

これが一番大切です。【してあげる幸せ】は言い換えれば【だれかのためにする幸せ】です。お家の人から何かをたのまれて、それをやってあげると、お家の人是非常に喜びます。また友だちに何かをしてあげると喜ばれます、その喜ぶ顔や姿を見て、自分がうれしい気持ちになる。これが最もたいせつな幸せです。

1年生を迎える会や春の遠足で、みなさんが「1年生のために行動したり声かけをしたりする姿」や「友だちのためやみんなが楽しくなるように行動する姿」…【だれかのためにする幸せ】を多く見せてくれたことがうれしかったり感動したりした理由です。

これからも授業や生活で【できる幸せ…「できた」「わかった」】がいっぱいになるといいなと思うし、【だれかのためにする幸せ】があふれる人になってほしいなとも思います。そしてだれかから【してもらう幸せ】をもらったら、「ありがとう」の言葉をいってほしいなと思います。

ちなみに鍵山秀三郎さんによると…

この3番目の幸せ【してあげる幸せ】を感じるようになると、どんどん人生は良くなっていきます。

なぜ【してあげる幸せ】を感じるようになると人生が良くなるのかというと、この幸せのできる人の周りには、非常に善良な「人のいい」人達が集まってきて、そのいい人達と人生を送ることができるようになるからです。だから、どんどん人生が良くなっていくのです。

とのこと。これからの生活にいかせそうですね。